

ハイバイ「ヒッキー・ソトニデテミターノ」関連企画

自分の物語 ワークショップ



岩井秀人 撮影：平岩享

こんにちは、ハイバイの岩井です。
基本的に僕はいつも、自分の身に起きたことを元に台本を書いて演劇にしています。
なので今回のワークショップでも、参加者の身に起きたことを、参加者達が演劇にする、
というものになります。
誰でも演劇って作れると思うので、そのやり方で、みんなと遊べればと思います。
演劇未経験の人も経験者も、ご参加くださいませ。

募集 内容

〔日程〕 2017 年 **12 月 16 日** (土) 13:00-16:00

〔会場〕 三重県生涯学習センター 3 階 スタジオ
(三重県津市一身田上津部田 1234 三重県総合文化センター内)
* 図書館のある建物です

〔対象〕 16 歳以上の方。経験不問。

〔参加費〕 1,000 円 * 当日受付でお支払いください。

〔定員〕 16 名 (抽選)

〔見学について〕 5 名まで受付いたします

* 見学のみをご希望の方は、
申込時に見学希望の旨をお知らせください。

〔申込方法〕

必要事項をご記入の上、
以下のいずれかの方法でお申込みください。

〔FAX〕 059-233-1106

〔郵送〕 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234
三重県文化会館ハイバイワークショップ係 宛

〔メール〕 kenbun@center-mie.or.jp

〔申込締切〕 **12 月 1 日 (金) 必着**

* 締め切り後、12 月 6 日 (水) までに
全員に抽選結果を郵送にてお送りいたします。

裏面に申込用紙アリ!!

お問合せ

三重県文化会館チケットカウンター

059-233-1122

(10:00~19:00 / 月曜休館、月曜祝日の場合は翌平日)

主催：三重県文化会館

平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



講師：岩井秀人 [いわいひでと]

2003 年ハイバイを結成。2007 年より青年団演出部に所属。
東京であり東京でない小金井の持つ「大衆の流行やムーブメントを憧
れつつ引いて眺める視線」を武器に、家族、引きこもり、集団と個人、
個人の自意識の渦、等々についての描写を続けている。
注目の劇団ハイバイの主宰。2012 年 NHKBS プレミアムドラマ「生む
と生まれるそれからのこと」で第 30 回向田邦子賞、2013 年「ある女」
で第 57 回岸田國士戯曲賞を受賞。
代表作「ヒッキー・カンクーン・トルネード」「おねがい放課後」「て」。

ハイバイとは

2003 年に主宰の岩井秀人を中心に結成。そもそも気まぐしいシチュエー
ションに、なんとも要領の悪い人や空回りするくらいの自意識を振り
まく人、どこか世の流れに上手く乗っていけない感じの人たちが現れ
て、あたふたしているうちに目も当てられない状況になっていくのを
笑っていると、まんまと人生の深淵を覗かされてしまうのがハイバイ。
相次いで向田邦子賞と 岸田國士戯曲賞を受けた岩井が描く、ありえそ
うだがありえないそんな世界を、永井若葉・平原テツ・上田遥・川面
千晶といった外部公演でも評価の高いクセ者たちのおかげで「ありそ
うだぞ、いやこれが世界そのものだ!!」って思わせちゃうのがハイバイ。
2015 年国内では 10 都市「ヒッキー・カンクーン・トルネード」ツアー
を敢行した。2016 年 2 月に発表した「夫婦」は話題を呼び、第 20 回
鶴屋南北戯曲賞にノミネートされた。

公演 情報

ハイバイ

「ヒッキー・ソトニデテミターノ」

岩井秀人が自身のひきもこり体験をもとに描いた代表作
「ヒッキー・カンクーン・トルネード」の続編。
待望の劇団初上演!

作・演出・出演：岩井秀人

出演：平原テツ、田村健太郎、チャン・リーメイ
能島瑞穂、高橋周平、猪股俊明、古館寛治

〔日程〕 2018 年 3 月 3 日 (土) 14:00 / 18:00
3 月 4 日 (日) 14:00

〔会場〕 三重県文化会館小ホール (三重県津市一身田上津部田 1234)

〔料金〕 全席自由・整理番号付

一般 3,000 円 25 歳以下 1,500 円

12 月 9 日 (土) チケット発売